

BIGMASTER BMT-850と開発者の坂井良治氏

本文下側のQRコード、または同社のホームページから確認できるので、一度ご覧になられると良い。

## 小野谷機工の大型タイヤチェンジャー

# BIGMASTER BMTシリーズ

小野谷機工は、TB、LTはもちろん、OR、AGにも対応するワイドレンジの大型タイヤチェンジャーBIGMASTER(ビッグマスター)。BMT-850、BMT-1250、1250Xの3機種を新発売した。グレートツールの皿型ツールの形状と大きさを変えることにより、タイヤにかかる摩擦力が減少、作業性を向上させた。同社本社で新商品の概要を聞いた。

(木本)

新商品について解説してくれたのは、同商品開発本部の坂井良治氏。

BIGMASTER BMT-850(以下BMT-850)の試作機を前に解説をお願いした。試作機

実際に機械が動く様子は

この辺の車両で使わ

れる最も大きなサイズに

なります。ですのでBMT-850があれば、国内の

T-850がほぼ対応できるこ

とにになります。ただし、

このBMT-850も、カラーリングを艶消しブラックとし、ロゴには赤黒を使用している。シックで力強さが伝わるデザインだ。

Y-A外径2400ミリ、タイヤ幅1250ミリまで対応するモデルである。

玉デルを3機種に分けたのは設置面積の問題。

BMT-1250、1250Xは作業できるタイ

ヤが大きい分、機械の寸法が大きくなり、面積を余分に取ってしまう。そのためショップによっては設置できないお店もあるとのことで、BMT-850を新たに開発に加えたそうだ。

『BMT-850が作業できるタイヤの最も大きいものは29・5R25という

ものになります。一般的にショベルローダーとか、ハイールローダー

## ワイドレンジ対応が強み

くくなる点があり、作業しに

付けてホイールの形状に

違い一部ですが24・00R

35など、もっと大きいタイヤを使用する車両があります。そうするとお車にはBMT-1

250、1250Xをお勧めします』と坂井氏は寧に拾い、試行錯誤を重ねて段を付けた。

『これはお客様の生の声を各県の営業マンが丁寧に拾い、試行錯誤を重ねました。これがタイヤに当たるよ

うにしました。これでお皿の全面が当たることな

を変更し、直径を大きくし、途中で段を付けた。また、お皿の直径を

小さくする』とBMT-850に

少しお皿の角度を

少し変え、もう一度

お皿に段を付けたのも

改良点です。これによ

り、お皿がタイヤに強く当たりにくく、圧を逃がす

ため、タイヤが回転しやすくなり作業性がさ

らに向きました』と坂井氏。

チューブレスタイヤを

作業するときに、ビード部に入りやすくなりまし

た。お皿に段を付けたのも

状態でタイヤに当たるよ

うにしました。これでお

皿の全面が当たることな

を始め、何かレバー操作を始めた瞬間に油圧ポンプを起動する。操作をしなが

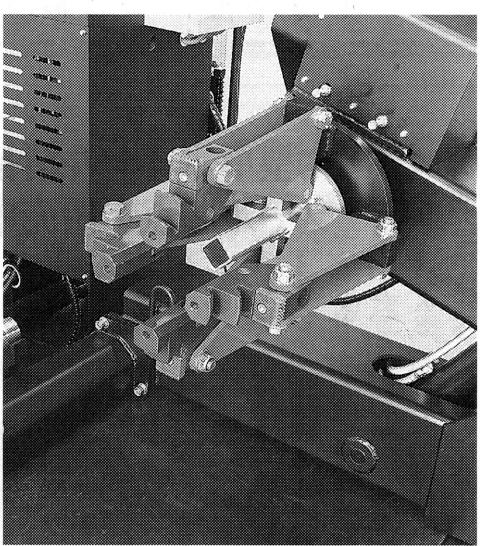
り、アーム台部に無理をかけずに脱着できる

ことができるビードローラー、

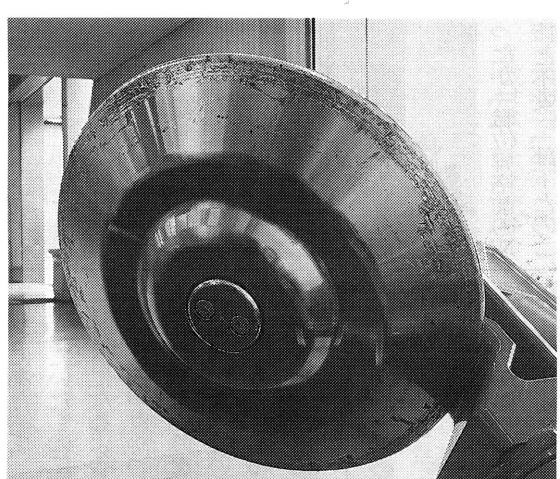
アーム台が同時に動くダブルアクション方式を探用。よりスピーディーな作業を可能にする。作業によってダブルアクションからシングルアクションへの切り替え也可能だ。



ロゴデザインも力強さを増した



チャッキングもホイール形状に対応



皿型ツールの直径を大きく、段付きに変更

『BMT-850が作業できるタイヤの最も大きいものは29・5R25という

ものになります。一般的にショベルローダーとか、ハイールローダー

作業するときに、ビード

別々に動くシ



BIGMASTER BMT-850の動画 QR コード